



実証 フィールド 提供します

地方が直面する地域課題の解決につながる実証実験の
誘致に取り組んでいます

【実証フィールド】新開発の製品・技術
などを実際の場面で使用し、実運用に
向けての問題点を検証する場所のこと。

国家戦略特区による
規制緩和の検討が可能！
**近未来技術
実証特区
認定**

挑戦者求む！

例えば… 無人運転バスの実証実験／ドローンによる図書配送実験／テレビ電話
を活用した薬剤師による服薬指導農林業分野のIoT化／スマートフォン等を活用
した新たなおもてなしサービスの構築／防災監視サービスの実証実験 等



我と思わん者は、いざ仙北市へ

仙北市
SEMBOKU CITY

秋田県 仙北市役所 総務部 地方創生・総合戦略室

〒014-1298 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30

TEL 0187-43-3315 FAX 0187-43-1300

Mail sousei@city.semboku.akita.jp

<http://www.city.semboku.akita.jp/sousei/index.html>

内閣総理大臣から
認定された事業
合計7事業

- ① 国有林野活用促進事業
- ② 農業法人経営多角化等促進事業【2事業】
- ③ 国家戦略特区高齢者退職者就業事業
- ④ 特定実験試験局制度に関する特例事業
- ⑤ 特定非営利活動法人設立促進事業
- ⑥ 旅行業務取扱管理者確保事業

特区の利点は“規制緩和”

事業の前に
立ちはだかる
さまざまな規制を
スピーディに検討し
緩和させます
**事業構想を持って
ぜひ仙北市へ!!**

事例

ドローン技術の普及、関心を高めるとともに
地場の起業や市民がドローン産業に参入するきっかけづくりとして開催された

「ドローンインパクトチャレンジアジアカップ2016」

- ドローンスクール
日時：平成28年7月29日(金)13時～15時
対象：仙北市及び近隣の小中学生 受講者数：60名
- ドローンレース
日時：平成28年7月30日(土)・31日(日)10時～16時
種目：マスタークラス、レギュラークラス、ウイングクラス、
フリースタイルクラス、Under199クラス
出場国：中国、韓国、ベトナム、シンガポール、マレーシア、
インドネシア、日本(7か国)
競技参加者：50名(内海外選手9名)
観戦者数：約1,400名

特定実験試験局制度の利用に係る
申請から免許発給までの手続きを
大幅に短縮。《免許の申請から発給
を「即日」で行った》

【特定実験試験局制度の活用メリット】
日本のアマチュア無線の資格を持たない海外
選手の競技参加や、同時スタートできる台数
の増加が可能となった。



さらに仙北市は自動飛行や遠隔医療などの新しい技術の実証をするための規制改革を行う

近未来技術実証特区

として国に認定されています

ドローンに関する取り組み

■ドローンと秘匿通信による 図書輸送の実証実験

開催日：平成28年4月11日(月)
会場：西明寺小学校～西明寺中学校
実施者：国立研究開発法人 情報通信研究機構 株式会社 プロドローン
概要：図書検索システムを活用し、学校図書の輸送要望があった想定で実施。
星の王子さまなど3冊を積載したドローンが学校間1.2キロを飛行。

■角館空中さんぽ実証実験

開催日：平成29年5月1日(月)
会場：桜木公園(仙北市角館町)
実施者：仙北市 株式会社くまがい印刷
概要：桜木公園をドローンで空撮し、その映像をリアルタイムで
ヘッドマウントディスプレイに映し出し、バーチャルリアリティーで体験。
1フライト約4分間で、10時～15時の間に約150名が参加。

■ドローンテクニカルチャレンジin仙北市

開催日：平成29年7月22日(土)～23日(日)
会場：田沢湖スポーツセンター体育館
実施者：ドローンテクニカルチャレンジ実行委員会
概要：模擬的に作られた空間において、救助者発見のためのドローン操縦
技術を競う大会を開催した。

自動走行に関する取組み

■無人運転バス公道実証実験

日時：平成28年11月13日(日)9時45分～11時
場所：田沢湖畔(湖畔の社レストランORAE～かたくりの花)
実施者：内閣府、仙北市、株式会社ディー・エヌ・エー
試乗者：63名
公道における自動走行に係る法整備や、全国で実施されるようになった
自動走行の実証実験につながった。

